



# 特別支援



## 1 特別支援学級における「深い学び」

社会における自らの価値を見出し、貢献しようとするとともに、学習内容や身に付けた知識・技能を生かして、よりよい生き方へ向かう学び

## 2 「深い学び」を目指すためのポイント

### ① 子供が自分の考えを深めるための工夫

- ・理論や理屈の裏付けがあること：活動は、ただ単に「面白い」「不思議だ」だけでなく、そこに「なぜだろう」という好奇心や探究心を喚起する工夫をする。またその好奇心や探究心に対してICTを有効活用した“分かる授業”で応える。
- ・協働：5組仲よし学級と中学部5組の交流授業や共同作業、互いの作品を紹介し合って意見を交わす活動を通して、他者と関わり合い、認め合いながら物事を進め達成する力を付ける。
- ・作品として残るもの：活動の成果を作品として残すことで、他者からの評価をたくさん得る。特にほめられ、認められることは達成感と自己肯定感を満たすことができる。それが自己有用感を生み、将来的に社会貢献しようという意欲へつながると考える。
- ・楽しい活動であること：知識・技能の習得が、外からの押し付けによるものではなく、子供たちの「身に付けたい」という気持ちによるものでなければ、生涯を通しての継続的な学びの姿勢にはつながらない。

### ② 目指す児童・生徒の姿

- ・社会における自らの価値を見出し、社会に貢献しようとする児童・生徒
- ・学習した内容をこれからの自立や就労と関連付け、それらに生かそうとする児童・生徒
- ・身に付けた知識・技能を使って、よりよい生き方へ向かう児童・生徒

## 3 「深い学び」を実現するための学習の流れとICT活用例






学習段階	課題設定	課題解決			振り返り
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・デモンストレーション</li> <li>・試し撮り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン考案</li> <li>・役割分担</li> <li>・デザイン発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの練習</li> <li>・試し撮り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のグループの発表</li> <li>・他のグループの鑑賞</li> <li>・意見交換</li> </ul>
ICT活用	<p>思考の活性化 課題の焦点化</p> <p>図表を多く取り入れたスライドや、手本となる動きの録画をインタラクティブボードの大画面で視覚的に分かりやすく示し、これから取り組む学習内容とゴールを、明確化する。</p>	<p>思考の共有 課題解決の支援</p> <p>デザインを考える上で参考になる画像や素材をサーバー上に置き、タブレットPCで子供が自由に閲覧できるようにすることで、課題解決を支援する。</p> <p>考案したデザインや、進捗状況を書画カメラやタブレットPC、インタラクティブボードを用いて発表し合うことで、思考の共有を図る。</p>			<p>成果の共有</p> <p>完成した作品をタブレットPCとインタラクティブボードを用いて発表し合うことで、成果の共有を図る。</p> <p>プレゼンテーションにおけるICT活用の有用性に気付く。</p>

5 組仲よし学級 国語学習指導案

1 単元名



「じどう車くらべ」

2 単元計画

次	時	学習内容	I C T
1	1	知っている自動車について発表する。	写真、動画 インタラクティブボード 
	2	「じどう車くらべ」を読み、気付いたことや感想を発表する。	写真、動画 インタラクティブボード タブレット P C  
	3（本時）	それぞれの自動車の作りや仕事について、読み取ることができる。	 
	4・5		
	6	お気に入りの自動車を決める。	
2	7・8	紹介したい自動車を決めて、説明文を作る。	
	9	「働く自動車絵本」を発表したり、感想を聞いたりすることができる。	

3 本時（9時間扱いの3時間目）

（1）I C T 活用

学習場面	課題設定	思考の共有	個の思考	問い直す
学習活動	興味関心を高める	関連付ける	既習の知識・技能を活用する	
タブレット P C				

（2）展開






学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時の学習の振り返り 2 本時の流れの確認	・「はたらく くるま」を歌い、学習の意識付けを図る。 ・絵を少しずつ拡大し、クレーン車の学習を意識付ける。
3 本時のめあての確認 4 クレーン車の「しごと」について確認 ・「しごと」の段落の読み聞かせを聞く。 ・動作化を行い、「つり上げる」について確かめる。 ・身の回りの重いものを持ってみる。 ・「しごと」の段落の読み聞かせを聞く。 ・挿絵と言葉を一致させる。 ・「じょうぶなうで」を動作化する。 5 クレーン車の「しごと」についてのまとめ ・クレーン車の働きについて書かれた文を書き写す。	<div>クレーン車の「しごと」についてたしかめよう。</div> ・インタラクティブボードを用いて一行ずつ文を提示し、読まない他の文は隠す。 ・身の回りにある重い物を持つことで、クレーン車に必要な働きについて考えさせる。 ・読み聞かせに合わせ、言葉や文をスクリーンに提示する。 ★自動車の働きを表す言葉と、それを表す絵を一致させることができる。 ・座席配置を変え、2つのグループに分かれてワークシートに言葉を書く支援を行う。 ・タブレット P C に本文を表示したものを配る。 ★自動車の作りや働きを表す言葉をワークシートに書くことができる。
6 学習の振り返り ・本時で学習した「しごと」を確認する。 7 次時の見通しの確認	・「しごと」の文が書かれた短冊を絵に貼る。 ＜問い直し＞

5 組仲よし学級 算数科学習指導案

1 単元名






「買い物に行こう」

2 単元計画

時	1	2	3 (本時)	4	5・6
ねらい	お金の扱いに慣れる	買い物の練習をする			買い物に出かける
学習内容	・10 円、100 円を分けたり選んだりする。	・10 円、100 円を自分で財布から出す。	・「たべものや」で買い物をする。 ・品物を選ぶ。	・「こものや」で買い物をする。	・「コンビニエンスストア」へ行く。
	金種を認識し選ぶ	買い物準備→教室内で店を設定し練習			実践
I C T	単元の学習の流れの確認 写真、動画 	写真、ビデオ、動画   			写真、ビデオ、動画 

3 本時（6 時間扱いの 3 時間目）

(1) I C T 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	興味関心を高める 見通しをもつ	自分と結び付ける	情報を整理・分類・選択する	振り返って次へつなげる
タブレット P C		 		

(2) 展開








学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 挨拶 2 学習内容の確認 ・本時の学習内容を知り、見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">買い物をしよう</div>	・今までの買い物の様子をビデオで紹介したりお店の様子を紹介したりして興味をもたせる。
3 準備 ・お金を財布に入れる。	・歌に合わせて 10 円や 100 円を財布にしまっていく。 <b>★言われたお金を正しく選ぶことができる。</b>
4 買い物の仕方の確認 ・品物を確認する。 ・お店でのやりとりを確認する。	・自分の買う物をタブレット P C で確かめさせる。 ・教師の演じているビデオを紹介し「ください」「ありがとう」などの言葉を確認する。
5 買い物 ・教室内の買い物用の店のコーナーまで並んで行く。 ・品物を選ぶ。 ・お金を財布から出す。 ・品物をもらう。	・グループで並んで「食べ物屋」の場所に行き、品物を買うやりとりを行わせる。 ・お店役は、大人が担当し、お客の役を順番に進める。うまくいかない場合は、声かけや動作の補助をする。 ・買い物の様子をビデオや写真で撮り、振り返りにいかす。上手にできていた部分を教師の方から紹介する。 <問い直し> <b>★言われた金額を自分で正しく出すことができる。</b> <b>★お店でのやりとりを積極的に進めることができる。</b>
6 買い物の振り返り ・買ってきたものを紹介する。 ・自分からえらべたか、お金を自分で出せたか、品物をしっかり受け取ってきたかを確認する。	
7 次時の内容確認 ・小物屋（教室内に設定）に行くことを知る。 ・買いたいものを考える。	・小物屋の品物をいくつか紹介(タブレット P C の活用) し、買いたいものを選ばせておく。

# 5 組仲よし学級 生活単元学習 学習指導案

## 1 単元名



「わたしたちの杉並和泉学園」

## 2 単元計画

次	時	学 習 内 容	I C T
1	1	●単元のめあてを知る。 ●今後の進め方を知る。	写真、動画 インタラクティブボード タブレットP C 
2	2・3	●発表会の準備をする。 ・すきなところを考える。 ・タブレットP Cのカメラで撮る。 ・発表する文を考える。	写真 デジカメ タブレットP C 
3	4・5・6 (本時)	●小グループで発表会をする。	写真・ロイロノート インタラクティブボード タブレットP C  
4	7・8	●フォトフレームを作る。	写真、動画 インタラクティブボード タブレットP C  
	9	●できた作品を紹介する。	写真、動画 インタラクティブボード タブレットP C) 

## 3 本時の学習（9時間扱いの6時間目）

### (1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	見通しをもつ	既習の知識・技能を活用する	よさを共有する	振り返って次へつなげる
タブレット P C				

### (2) 展開





学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時の交流のふり返り ・2回目の発表をする。	・楽しかったことを思い出させ、意欲につなげる。 ・活動の様子をインタラクティブボードで紹介する。
2 本時の流れの確認	・第3回目のグループを表示し、分かりやすくしておく。
「わたしたちの杉並和泉学園」発表会をしよう	
3 グループごとの発表 ・杉並和泉学園のすきなところを撮影した写真をタブレットP Cで発表する。(小) ・中学部5組について撮影した写真をタブレットP Cで紹介する。(中)	・グループごとにタブレットP Cを活用しながら発表する。 ★すすんで杉並和泉学園の好きなところを発表できる。 ★みんなの発表を、興味をもって聞く。 ★同じグループの人の発表を聞き、感想を言うことができる。 ＜問い直し＞
4 感想 ・互いに感想を伝え合う。	・時間に余裕のあるグループは、フォトフレーム作りについても話題にする。
5 まとめ ・別のグループの発表の様子を知る。	・各グループの様子を簡単に紹介して次への意欲につなげる。 ・みんなの写真をいくつかインタラクティブボードで紹介する。
6 学園歌の合唱	・これからも5組仲よし学級と中学部5組で仲よくしていこうという期待と意欲をもたせる。

5 組仲よし学級 生活単元学習 学習指導案

1 単元名




「NHKスタジオパークに行こう」

2 単元計画

次	時間	学習内容	I C T
1	1	・スタジオパークがどんなところか知ろう。	写真、動画    
2	2	・まわりかたを考えよう。	
	3 (本時)	・お土産を決めよう。	
	4	・行き方と帰り方を知ろう。	
	5	・しおりで最後の確認をしよう。	
3	6	・NHKスタジオパークに行こう。	
4	7	・まとめ	

3 本時（7時間扱いの3時間目）

(1) I C T 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	興味関心を高める	自分の考えを形成する	よさを共有する	振り返って次へつなげる
タブレット P C				

(2) 展開



学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 挨拶 2 学習内容の確認 ・本時の学習内容を知り、活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">お土産で買うものを決めよう</div>	・本時の内容が分かるように印をつけた表を活用し、活動に見通しをもたせる。
3 お土産購入についての確認 ・お土産代が 500 円ということを確認する。 ・NHKスタジオパークに実際にあるお土産の写真を掲示し、様々なお土産があることを知る。  5 お土産の選択 ・様々なお土産の中から自分が買いたいものを選ぶ。 ・選んだものや金額をワークシートに書く。  6 意見の共有 ・それぞれが何を選んだのか、品物の写真をロイロノートで送り、全体で共有する。	・視覚的に理解しやすいように拡大化した模擬硬貨を使用する。 ・インタラクティブボードを使い全体で掲示する。  ・お土産を自分で決めるのが難しい児童に対しては、タブレットP Cで写真を見せて意思表示をさせる。 ★自分でお土産を決めることができる。 ・みんなが選んだものを教員がロイロノートに送り、インタラクティブボードで映す。 <div style="text-align: right;">＜問い直し＞</div> ★友達が選んだお土産にも興味をもって聞くことができる。
7 まとめ ・お土産代を確認する。 ・次時の内容を確認する。	・昼食はレストランで食べることを話し、当日への期待を高める。

5 組仲よし学級 体育科学習指導案

1 単元名





「とびあそび」

2 単元計画

時	1	2	3	4 (本時)	5	6
ねらい	運動の楽しさや喜びを味わう (習得)			ペアで運動に取り組む。(活用・探究)		
学習内容	○例示された練習例にペアで取り組む。			○個々のめあてに合わせた練習に、ペアで取り組む。		
	○個々のめあてを考える。		○個々のめあてに沿った練習をする。	○ペアで練習する。		
I C T	・動画撮影 		・動画撮影 	・学習感想		

3 本時 (6 時間扱いの 4 時間目)

(1) I C T 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	見通しをもつ	自分の考えを形成する	よさを共有する	振り返って次へつなげる
タブレット P C				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 整列、挨拶 2 学習内容の確認 ・本時の学習内容を知り、見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">1 分間で跳べる回数を増やそう</div> 3 準備運動 4 個々の練習 (わくわくタイム) ・1 分間の跳び練習をする。 5 ペアでの動画の撮り合い 6 ペアでの動きの確認 (チェックタイム) ・お互いの跳び方の良さや改善点について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             ・動画を確認して、改善点に気付いていたか。              (地上 1 センチでつま先跳び、手首で縄を回す、              背筋を伸ばして前を見る)           </div> 7 よりよい跳び方練習 (アドバイスタイム) ・動画を振り返り、跳ぶ回数を増やすために必要なアドバイスをし合う。 8 1 分間跳び、本番 (チャレンジタイム) 9 学習の振り返り ・ペアごとに話し合い、友達や自分について振り返る。 10 整理運動 11 学習のまとめ (振り返りカードへの記入)	・動画視聴をすることで学習内容の見通しをもたせる。  ・タブレット P C を活用して、よりよい跳び方につながるめあてをもたせる。 ・タブレット P C のカメラのスロー設定で撮った動画を見て、めあてに合った跳び方ができているかを確認させる。  ・相手や自分の動きの改善点を見出し、練習に生かせるようにする。 ★ペアの相手の跳び方の良さや改善点に気づき、伝え合っている。 <問い直し>  ・本時の活動について振り返らせ、振り返ったことを、カードに記入させる。





中学部 5 組 国語科学習指導案

1 単元名


「間違いさがし」

2 単元計画

時	ねらい	学習内容	I C T
1	課題の内容を理解できる。	例題を皆で一緒に解きながら課題の内容を理解し、夏休みの課題に一人で取り組めるようにする。	インタラクティブボード 書画カメラ 
2 (本時) 3	皆の前で発表できる。 違いを言葉で説明できる。	間違いの場所を指摘して、それを言葉で表現する。例文を板書する。	インタラクティブボード 書画カメラ 

3 本時 (3 時間扱いの 2 時間目)

(1) I C T 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	課題を発見する	自分の考えを形成する	情報を整理・ 分類・選択する	振り返って次へつなげる
I C T	インタラクティブボード 書画カメラ 			

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
<p>1 整列、挨拶</p> <p>2 学習内容の確認</p> <p>・本時の学習内容を知り、見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">① 間違いの場所を、○で囲んで伝えよう</div> <p>・インタラクティブボードに提示された 2 つのイラストの違うところを指摘し、○で囲む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">② 間違いの場所を、言葉で人に伝えてみよう</div> <p>・間違いの個所を文章で表現し、発表する。</p> <p>3 文章の比較</p> <p>・比較して分かったことについて発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">① → ② を繰り返す</div> <p>4 学習のまとめ (振り返り)</p>	<p>・簡条書きで学習内容の項目を立てることで、見通しをもたせやすくする。</p> <p>・自分の自信のある問いで皆が発表できるように配慮する。指摘した箇所が分かりにくい場合は、確認して修正する。</p> <p>★ 2 つのイラストの違う個所を見つけて、指摘できる。</p> <p>★ 正確性や分かりやすさなどを意識して、文章化することができる。</p> <p>・表現の違う生徒の文章を提示し、どちらが伝わりやすいかを比較する。</p> <p style="text-align: right;">＜問い直し＞</p> <p>・振り返ったことを、次時に生かせるようにする。</p>







中学部 5 組 生活単元学習 学習指導案

1 単元名




「ハンディライトアート ～光の軌跡で幻想的なシーンを描く～」

2 単元計画

時	学習内容	I C T
1	・カメラの仕組みと光の軌跡 ・タブレット P C での試し撮り	インタラクティブボード タブレット P C 
2 (本時)	・デザインの考案と発表	インタラクティブボード
3	・役割分担 動きの練習	タブレット P C 
4	・一眼レフカメラでの撮影、作品完成	デジタルコンテンツ 書画カメラ 
5	・作品紹介と鑑賞 ・学習の振り返りと意見交換	インタラクティブボード タブレット P C 

3 本時

(1) I C T 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	知識・技能を習得する		共に考えを創り上げる	振り返って次へつなげる
I C T	インタラクティブ ボード 			インタラクティブ ボード 

(2) 展開

学習活動・内容	・指導のポイント ★評価
1 挨拶	・仲よし学級オープンスペースにグループ毎に着席させる。 ・整列場所を明確に指示する。
2 ガイダンス ・作品例の紹介と動画による 取組の説明をする。	・スライドとインタラクティブボードを使って視覚的に分かりやすく内容を提示する。 ・一眼レフカメラをインタラクティブボードに直接つないで、撮ったものをその場で提示する。 ★手を膝に置いて集中して話を聞いている。
3 機能の説明と試し撮り ・グループの部屋へ移動する。  ・タブレット P C の機能を紹介する。  ・各班でタブレット P C による 試し撮りを行う。	・タブレット P C を各グループに 1 台ずつ配布する。 ・グループに分かれて、各担当の指示でタブレット P C の操作や、ハンディライトの動かし方を確認する。 ・役割分担ができれば撮影ブースに移動して、グループ毎に試し撮りを行わせる。 ★タブレット P C の操作法を理解し正しく扱っている。 ★意欲的に試し撮りの活動に取り組んでいる。
4 鑑賞 ・作品を発表する。 ・互いに感想を伝え合う。	・全てのグループが撮影を終えたら、オープンスペースに再度集め、はじめと同じ隊形に着席させる。 ・タブレット P C をインタラクティブボードに接続し、作品を紹介する。 ＜問い直し＞ ・機器の操作を教員が行う。 ★興味をもって他のグループの作品を鑑賞している。
5 次回のアナウンス	
6 挨拶	

中学部 5 組 特別の教科 道徳 学習指導案

1 主題名

「命の大切さを学ぶ」 D 生命の尊さ

2 教材名


指導者の用意した家族の写真およびメール等の文面

3 ねらい

かけがえのない人の命について考え、自分や家族の命を大切にする態度を育てる。

4 本時

(1) ICT 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	課題を発見する	自分の思いや考えと結び付ける	情報を整理・分類・選択する	振り返って次へつなげる
ICT	インタラクティブボード 書画カメラ 			

(2) 展開

学習活動・内容	・指導のポイント ★評価
<p>1 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠確認の呼名に、はっきりと返事をする。</li> </ul> <p>2 課題の発見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活の中で、自分のかけがえのない人は誰かを考える。</li> <li>・自分をかけがえがないと思ってくれている人は誰かを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目を合わせて心身の健康状態を見る。</li> <li>・呼名し、声の調子を確認しながら出席をとる。</li> <li>・家庭環境が複雑な生徒の心情に注意する。</li> </ul>
<p>3 教材への共感（前半）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が教員になってから、家庭をもち、家族が増え、幸せに生活する様子の写真を見ながら、紹介を聞く。</li> <li>・写真や話からどんな家族かを想像し、学習シートに記入し発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が増えて喜びにあふれた様子や、家族4人で写っている楽しそうな様子の写真を選んで見せるようにする。</li> <li>・書画カメラとプロジェクターを使って学習シートをホワイトボードに拡大表示することで、記入箇所を明確に示す。</li> </ul>
<p>4 教材への共感（後半）と個の思いの深化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年9月に、筆者の妻の病気が分かり、闘病生活に入ってから、2017年9月14日に亡くなるまでの様子を、写真と闘病日記等で紹介を聞く。</li> <li>・葬儀の様子やその後の生活の話を知る。</li> <li>・筆者・筆者の子供たち・亡くなった妻、それぞれの気持ちを想像し、学習シートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気になった妻や筆者、子供たちに成り代わり気持ちを想像させる。 &lt;問い直し&gt;</li> <li>・書画カメラとプロジェクターを使って学習シートをホワイトボードに拡大表示することで、記入箇所を明確に示す。</li> </ul>
<p>5 感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い感想文を書き、発表し合う。</li> <li>・筆者の体験談から、自分や大切な人の命の大切さの理解がより深まったか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★命の大切さについて記入がある。</li> <li>★自分や家族の健康について留意し、改めて命の大切さに、気付いた記述が見られる。</li> </ul>